



2020年11月10日

各 位

会 社 名 リゾートトラスト株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 伏見 有貴
 コード番号 4681 東証・名証第一部
 問い合わせ先 専務取締役 業務部門管掌 兼 COO
 井内 克之
 電 話 052-933-6519

業績予想の修正ならびに剰余金の配当（中間配当）の実施

及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向及び今後の見通し等を踏まえ、2020年8月7日に公表しました業績予想を、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。また、本日開催の取締役会において、2020年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）の実施及びこれに伴う2021年3月期の配当予想の修正について下記のとおり決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想数値の修正について

2021年3月期 通期連結業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 158,000	百万円 6,300	百万円 7,800	百万円 3,200	円 銭 29.89
今回修正予想（B）	165,000	11,000	13,000	6,200	57.91
増減額（B - A）	7,000	4,700	5,200	3,000	
増減率（%）	4.4%	74.6%	66.7%	93.8%	
前 期 実 績 (2020年3月期)	159,145	11,652	12,476	7,135	66.65

・業績予想修正の理由

当連結会計年度の通期業績予想におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、4月～6月にかけて、会員権事業における営業活動の縮小、ホテルレストラン等事業における施設のクローズ、メディカル事業における健診施設のクローズやシニアレジデンスでの新規入居者の鈍化のほか、訪日外国人旅行者の著しい減少や日本国民の県を跨いだ移動の制限、不要不急の外出自粛等による消費の減退などが、当社グループの事業活動へ大きな影響を与えております。第2四半期にもコロナ禍の影響が続きましたが、ホテル及びメディカル会員権の販売が想定を上回って好調に推移したほか、会員制の施設運営に対し安心感を感じていただくなど、ホテル稼働が回復基調にある中、政府主導の「GoTo キャンペーン事業」などによる旅行ニーズの高まりも後押しとなり、業績の回復傾向がみられました。

現時点において、引き続き新型コロナウイルスの感染拡大懸念から世界的な収束が見通せない中、欧米の一部地域においては再度ロックダウンの施策がとられるなど予断を許さない状況が続いており、今後の想定については楽観視できないものの、足元の堅調な業績の推移を踏まえ、通期の業績予想を上方修正いたしました。

2. 剰余金配当（中間配当）及び年間配当予想の修正について

（1）2021年3月期 中間配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2020年8月7日公表)	前期実績 (2020年3月期中間)
基準日	2020年9月30日	同左	2019年9月30日
1株当たり配当金	15円00銭	10円00銭	23円00銭
配当金の総額	1,625百万円	—	2,492百万円
効力発生日	2020年12月7日	—	2019年12月9日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

（2）2021年3月期 年間配当予想の修正の内容（2020年4月1日～2021年3月31日）

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2020年8月7日発表)	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 20.00
今回発表予想			—	10.00	25.00
当期実績	—	15.00			
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	—	23.00	—	17.00	40.00

（3）中間配当及び年間配当予想の修正の理由

配当金の予想については、配当政策の基本方針に基づき、安定的な還元を継続するため、当初1株当たり中間配当額を10円としておりましたが、業績の状況に鑑み5円増額の15円とし、期末配当額（予想）の10円とあわせて、年間配当額（予想）を25円と修正しております

（注）上記の業績予想につきましては、当社が合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上